

## 岩手北部地震

# 最大震度 6弱に修正

### 気象庁「6強」洋野町「不明」に

気象庁は29日、7月に岩手県沿岸北部で強い地震が起きた際に洋野町で記録し

た「震度6強」を「不明」に修正すると発表した。記録値が過大だった可能性が高いため。最大震度は、野田村などで観測した「震度6弱」となる。最大震度の修正は、自治体が設置した震度計データの発表が始まった1997年以来初めて。

6強を記録したのは、洋野町役場大野庁舎の裏庭に県が置いた震度計。気象庁が庁舎1階に別の震度計を設置し、8、9月に起きた計4回の地震で観測値を比べたところ、計測震度で平均1・6の差があった。同庁は「7月の記録は適切ではなかった」と判断した。

北部地震後、震度計の設置台が埋め込んだる地面に2〜3ミリのすき間が見つかっており、地震の時に設置台が大きくぐらついた可能性があるという。